

WAZA Tube Amp Expander Core Editor の使いかた

WAZA Tube Amp Expander Core Editor の使いかたを紹介し
ます。

※ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

エディターを使う準備

USB ドライバーをインストールする

エディターを使う前に、お使いの製品に応じた USB ドライバーをパソコンにインストールします。

1. 製品サポート・ページから WAZA TAE Core Driver をダウンロードします。

最新の USB ドライバーは、以下の URL にアクセスし、お使いの機種にあったドライバーをダウンロードします。

<https://www.boss.info/jp/support/>

2. ダウンロードした WAZA TAE Core Driver をダブルクリックします。

インストールが始まります。

インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。

「インストールを完了しました。」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

お使いのパソコンに WAZA TAE Core Driver がインストールされます。

エディターをインストールする

メモ

エディターをインストールする前に、「USB ドライバーをインストールする」(P.1) に従って、お使いのパソコンに USB ドライバーがインストールされている必要があります。

1. 製品サポート・ページから WAZA Tube Amp Expander Core Editor をダウンロードします。

<https://www.boss.info/jp/support/>

2. ダウンロードした ZIP ファイルを展開します。

ZIP 形式のアーカイブ・ファイルとなっていますので、ダブルクリックするなどして解凍してください。

Windows をお使いの場合

3. 「WAZA Tube Amp Expander Core Editor Installer.exe」をダブルクリックします。

インストールが始まります。

4. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。

5. 「WAZA Tube Amp Expander Core Editor セットアップウィザードの完了」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

Mac をお使いの場合

3. 「WAZA Tube Amp Expander Core Editor Installer.pkg」をダブルクリックします。

インストールが始まります。

4. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。

5. 「インストールが完了しました。ソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。

エディターを起動する

1. WAZA Tube Amp Expander Core をパソコンと USB ケーブルで接続し、WAZA Tube Amp Expander Core の電源を入れます。

メモ

WAZA Tube Amp Expander Core とパソコンを USB ケーブルで接続しなくても、LIVESET の編集はできます。

保存するには WAZA Tube Amp Expander Core との接続が必要です。

2. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [WAZA Tube Amp Expander Core] → [WAZA Tube Amp Expander Core EDITOR] を選びます。

初めての起動時には、「Choose a device to connect with.」ダイアログが表示されます。

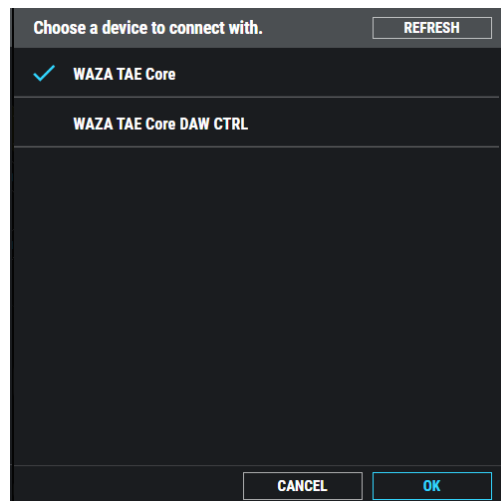
メモ

2 回目以降の起動時は、デバイスは自動で選ばれます。

Mac OS をお使いの場合

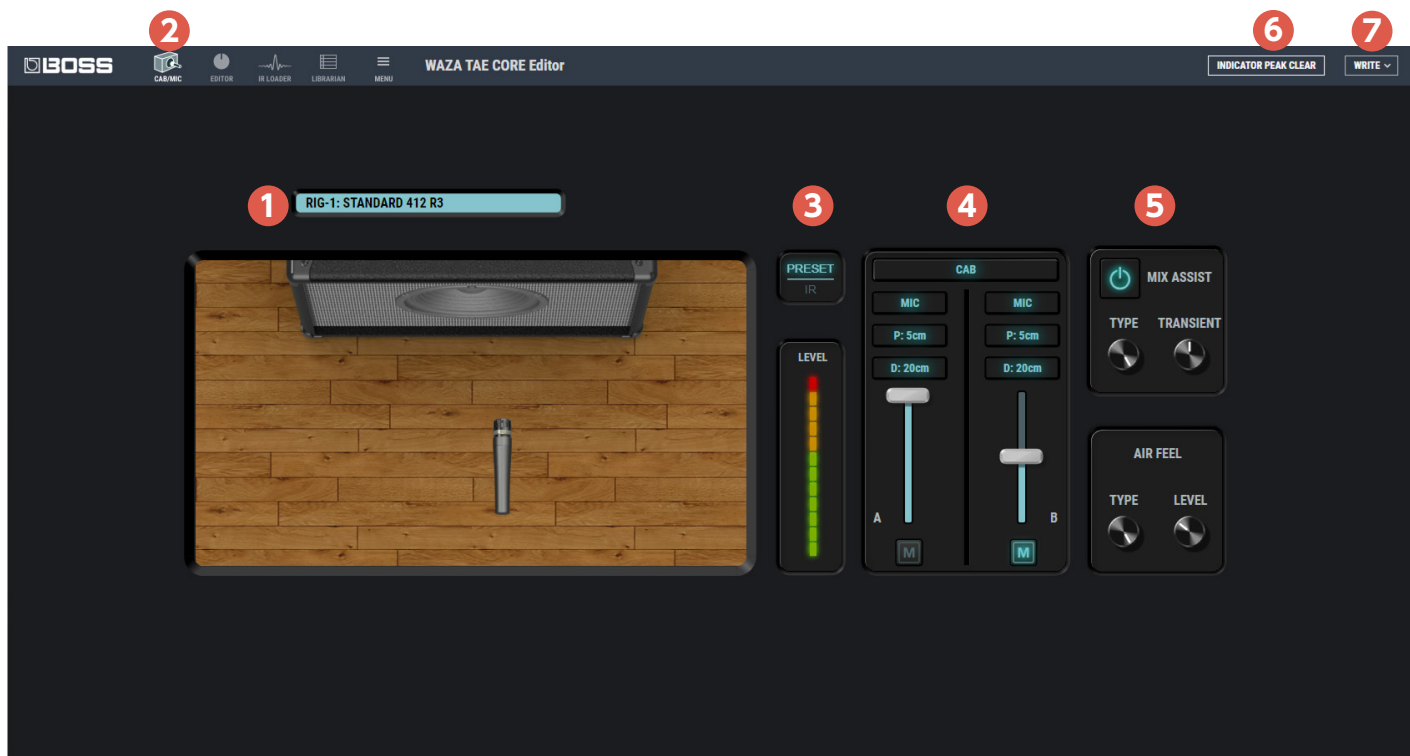
Finder から、アプリケーション / BOSS / WAZA Tube Amp Expander Core フォルダー内の [WAZA Tube Amp Expander Core Editor (.app)] をダブルクリックします。

3. 「WAZA TAE Core」を選び、[OK] ボタンをクリックします。



エディターが起動します。

CAB/MIC 基本画面



1. RIG 選択エリア

本体に保存されている音の設定（RIG）を選んで、調節することができます。

2. 機能選択エリア

CAB/MIC 基本画面

キャビネットやマイクなど、LINE と PHONES 出力音の基本となる部分を調節します。

EDITOR 基本画面

エフェクトや音量などを調節します。

IR LOADER 画面

IR（インパルス・レスポンス）データを取り込みます。

LIBRARIAN 画面

すべての RIG をバックアップしたり、順番を編集したりすることができます。

MENU 画面

製品本体の設定や情報を確認できます。

3. [PRESET/IR] ボタン

モードを選びます。
プリセットされているキャビネット／マイクを使用する場合は、PRESET モードを選びます。
マイク位置の調整など、詳細な音調整が可能です。
工場出荷時に搭載されている CELESTION 社の IR データや、IR LOADER で取り込んだ IR データを使用する場合は、IR モードを選びます。
2 つの IR を組み合わせて、音量／時間差／位相／出力方式を設定することが可能です。

4. キャビネット／マイク・パラメーター編集エリア

キャビネットとマイクの設定をします。
各パラメーターのボタンを押して、リストから TYPE や値を設定します。マイクをドラッグして位置を設定することもできます。

レベルメーターは入力レベルを表示しています。

5. MIX ASSIST / AIR FEEL パラメーター編集エリア

MIX ASSIST と AIR FEEL の設定をします。
各パラメーターのダイヤルを上下にドラッグして、値を設定します。（マウス・ホイールでも設定できます。）また、ダイヤルをクリックしてカーソル・キーの上下で値を設定することができます。ダブルクリックすると、パソコンのキーボードで数値入力したり、リストから値を直接選んで設定したりすることができます。

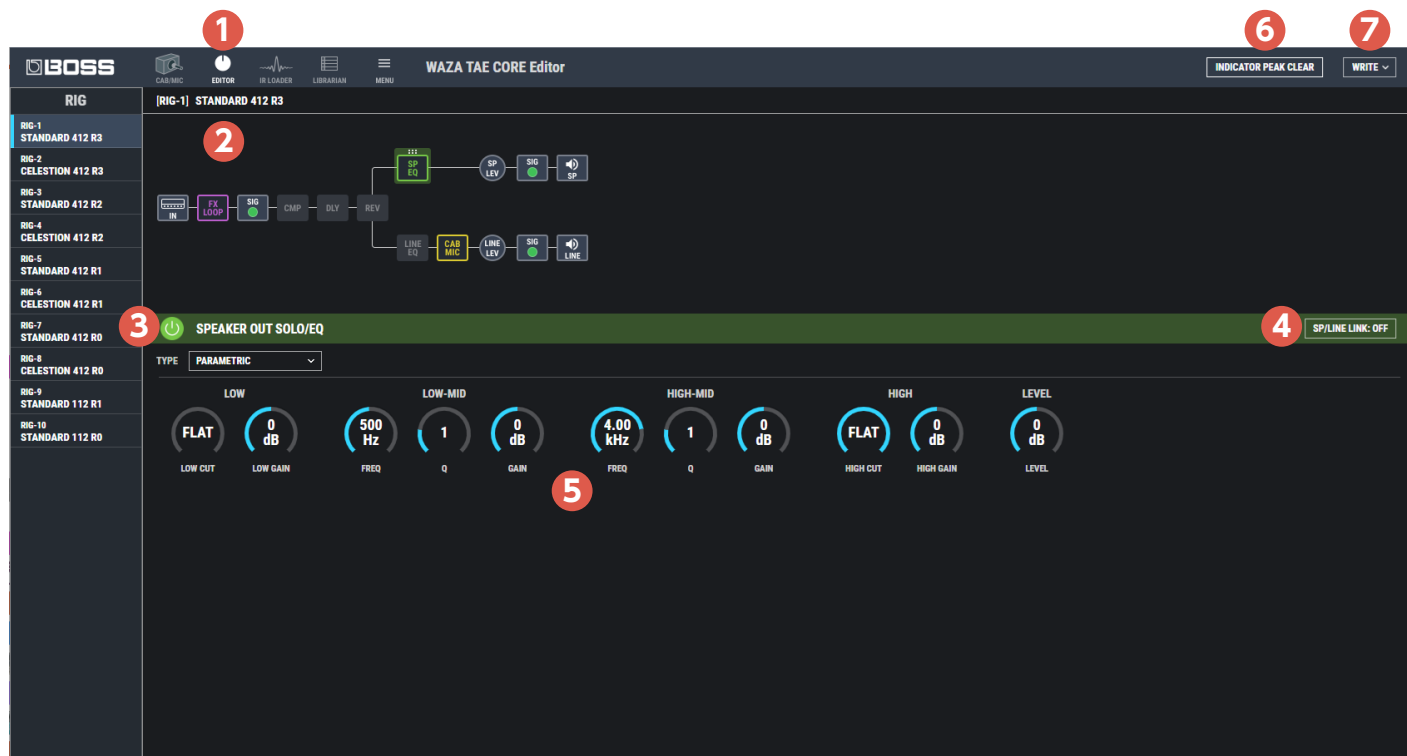
6. [INDICATOR PEAK CLEAR] ボタン

フロント・パネルの INPUT SIG/PEAK インジケーターがピーク・ホールドされている場合、クリックすると消灯します。

7. [WRITE] ボタン

クリックすると、WRITE、CLEAR のリストが表示されます。

EDITOR 基本画面



1. 機能選択エリア

[EDITOR] ボタンを押します。

2. エフェクト選択エリア

ブロックを 1 回クリックしてエフェクトを選びます。画面下部に選んだエフェクトのパラメーターが表示されます。クリック 2 回目以降は、クリックするたびにオン／オフが切り替わります。

選んだブロックには、が表示されます。

3. エフェクト・オン／オフ・ボタン

4. [SP/LINE LINK] ボタン

クリックすると、SP/LINE LINK オン／オフのリストが表示されます。LINK については「BLOCK DIAGRAM」をご覧ください。

5. パラメーター編集エリア

各パラメーターのダイヤルを上下にドラッグして、値を設定します（マウス・ホイールでも設定できます）。

また、ダイヤルをクリックしてカーソル・キーの上下で値を設定することができます。ダブルクリックすると、パソコンのキーボードで数値入力したり、リストから値を直接選んで設定したりすることができます。

[TYPE] ボックスをクリックするとリストが表示され、TYPE を選ぶことができます。

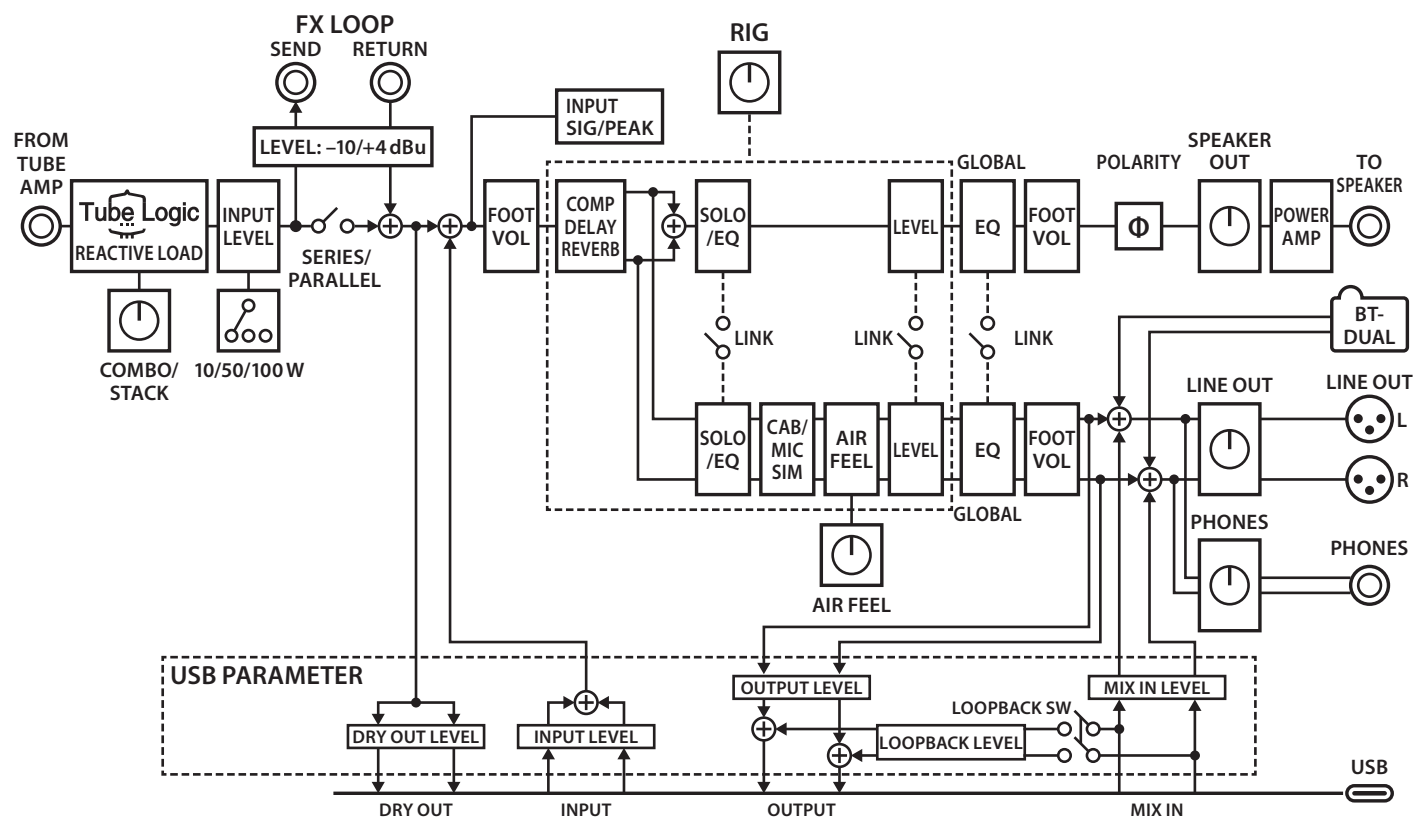
6. [INDICATOR PEAK CLEAR] ボタン

フロント・パネルの INPUT SIG/PEAK インジケーターがピーク・ホールドされている場合、クリックすると消灯します。

7. [WRITE] ボタン

クリックすると、WRITE、CLEAR のリストが表示されます。

BLOCK DIAGRAM



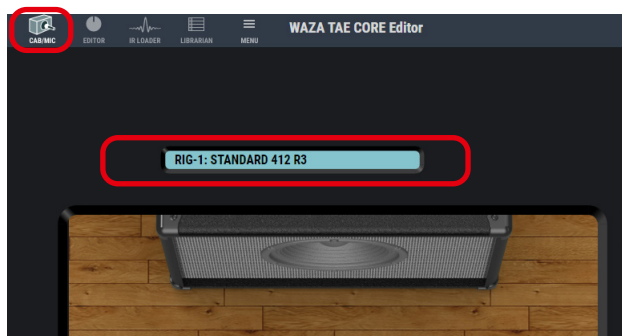
RIG をエディットする

「RIG-1 STANDARD 412 R3」をエディットする例を説明します。

1. 機能選択エリアの「CAB/MIC」ボタンをクリックします。

CAB/MIC画面でLINEとPHONES出力の音質や音像を設定します。

2. エディットするRIGを選びます。ここでは「RIG-1 STANDARD 412 R3」をクリックします。



3. 「CAB」ボタンでキャビネットのタイプと、「MIC」ボタンでマイクのタイプを選びます。

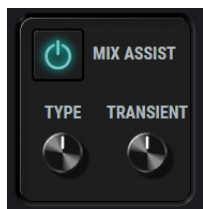
「RIG-1 STANDARD 412 R3」ではCAB TYPEは4x12" STANDARD、MIC AはDYN57、MIC BはRBN121が選ばれています。

4. マイクの位置、音量、ミュートを設定します。

マイクの画像をドラッグすることでもマイク位置を調整できます。
「RIG-1 STANDARD 412 R3」ではMIC Bはミュートがオンに設定されています。ミュートをオフにすることで、2本のマイク・シミュレーションも可能です。



5. MIX ASSISTで音質を調節します。



MIX ASSISTは、他の楽器と干渉する帯域を抑えたり、ギターにとって重要な周波数帯を強調したりすることで、最終的なミックスの質を高めることができる機能です。

ミックスに合わせてTYPEとTRANSIENTを調節します。

6. AIR FEELで音像を調節します。



目の前でリアルにアンプ・キャビネットが鳴っているような自然な立体感が得られます。出力環境と音量に合わせてTYPEとLEVELを調節します。

7. 機能選択エリアの「EDITOR」ボタンをクリックします。エフェクトの設定をします。

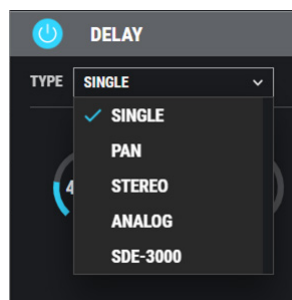
8. エフェクト・チェーン画面（画面上部）のエフェクト・ブロックの中から、エディットしたいエフェクト・ブロックをクリックします。

ここでは、[DLY]（DELAY）ブロックをクリックします。
クリックしたエフェクト・ブロックに枠が表示され、画面下部にエフェクトの設定が表示されます。

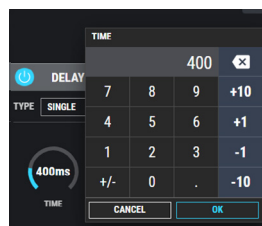


9. エフェクトをエディットします。

- ディレイの種類を変更したいときは、[TYPE] ボックスをクリックして、リストから選びます。



- パラメーターのダイヤルを上下にドラッグすると、数値が変更できます（マウス・ホイールでも設定できます）。
また、ダイヤルをクリックしてカーソル・キーの上下で値を設定することができます。ダブルクリックすると、パソコンのキーボードで数値入力したり、リストから値を直接選んで値を設定したりすることができます。

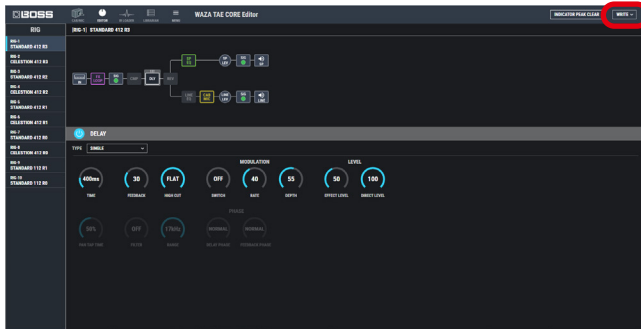


10. 他のエフェクトもエディットするときは、手順8～9を繰り返します。

エディットした RIG を本機に保存する (WRITE)

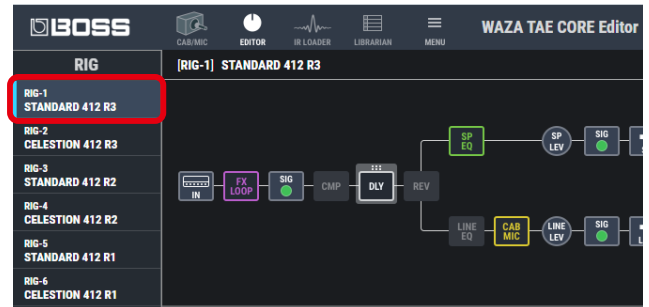
エディットした RIG を WAZA Tube Amp Expander Core に保存します。

1. 画面の右上にある [WRITE] ボタンをクリックします。



5. [WRITE] ボタンをクリックします。

指定した RIG にエディットしたサウンドが保存されます。

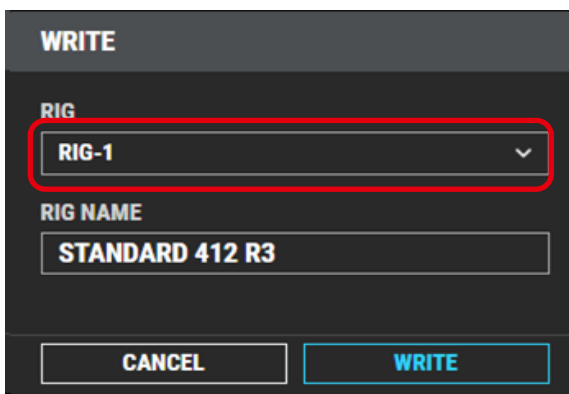


2. [WRITE] をクリックします。

[WRITE] ダイアログが表示されます。

3. 保存先の RIG 番号を選びます。

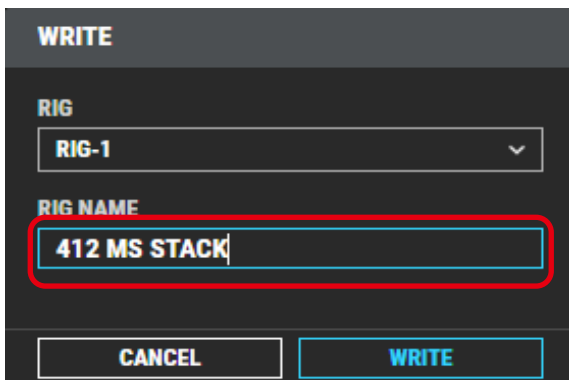
ここでは、「RIG-1」を選びます。



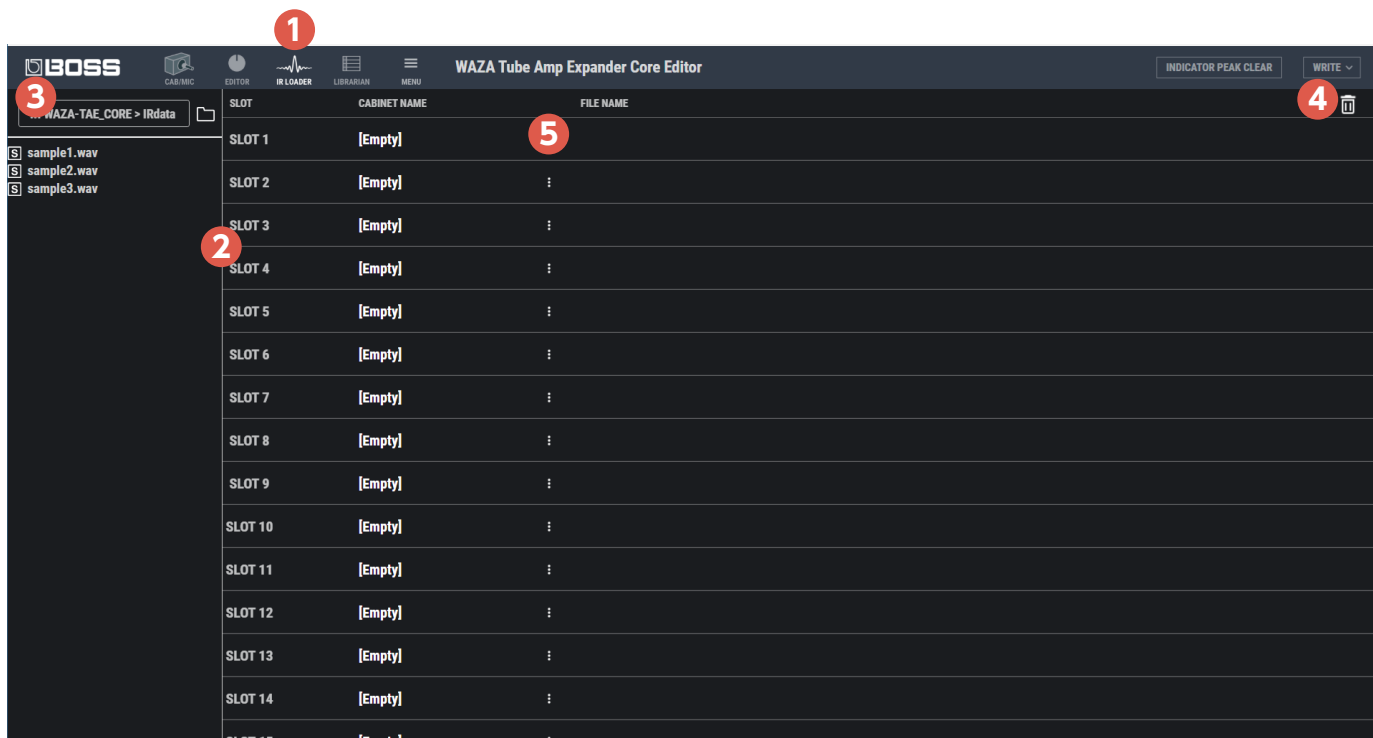
注意

保存すると、選んだ番号の RIG は上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよい RIG を選んでください。

4. RIG 名を変更するときは、RIG 名の欄をクリックし、パソコンのキーボードで RIG 名を入力します。



IR LOADER 基本画面



1. 機能選択エリア

[IR LOADER] ボタンを押します。

2. SLOT リスト

全 64 個の SLOT のキャビネット名とファイル名がリストで表示されます。

3. ファイル・ブラウザー

IR データが収められたフォルダーを選びます。

メモ

IR データを選ぶのではなく、フォルダーを選んでください。

4. [ゴミ箱] ボタン

選んだスロットに読み込まれた IR データをクリアします。

5. キャビネット名エディット・ボタン

クリックすると、キャビネット名を編集することができます。

ロードできる IR データの形式

項目	説明
形式 (拡張子)	WAV (.wav)
サンプリング周波数	44.1、48、96kHz
ビット数	16 / 24 ビット・リニア、32 ビット浮動小数点
レングス	500ms まで対応
ステレオ	対応

IR データを WAZA Tube Amp Expander Core に読み込む

1. 機能選択エリアの [IR LOADER] ボタンをクリックします。
2. ファイル・ブラウザーで読み込みたい IR データを選びます。
 - [S] はステレオファイルです。SLOT を 2 つ使用します。
 - [Ctrl] または [Shift] キーで同時に複数データの選ぶことができます。
3. ドラッグ&ドロップして SLOT を選びます。
 - 選んだ SLOT から順に IR データが読み込まれます。
 - SLOT の順番を変更することはできません。

キャビネット名を設定する

読み込んだ IR データに名前を設定することができます。CAB/MIC 画面で IR データを選んだときに、設定した名前で表示されます。

1. 名前を設定したい SLOT を選び、CABINET NAME 列の [] ボタンを押します。
2. 名前を入力します。

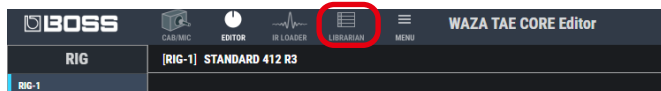
IR データをクリアする

1. クリアしたい IR データが入った SLOT を選びます。
一度に複数の SLOT を選ぶこともできます。
2. [ゴミ箱] アイコンにドラッグ&ドロップします。

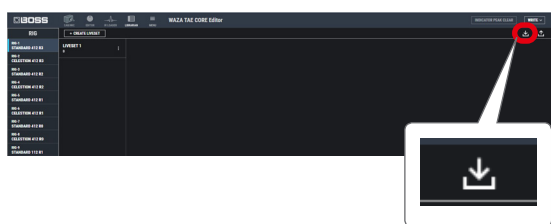
全 RIG を LIBRARIAN に取り込む (IMPORT FROM WAZA Tube Amp Expander Core)

WAZA Tube Amp Expander Core の全 RIG を LIBRARIAN に取り込みます。全 RIG はライブセットとして保存されます。

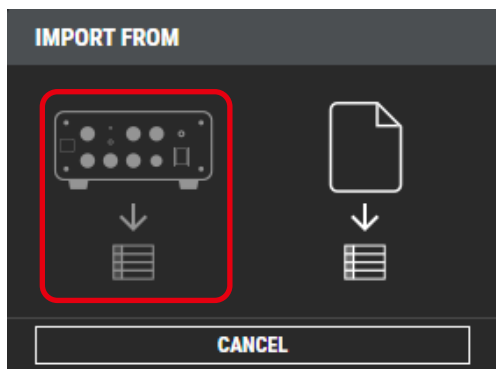
1. 機能選択エリアの [LIBRARIAN] ボタンをクリックします。



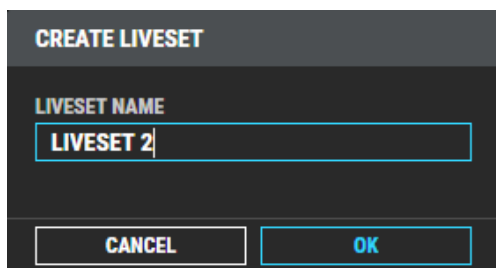
2. エディター画面の上部にある [Import] ボタンをクリックします。



3. [WAZA Tube Amp Expander Core] ボタンをクリックします。



CREATE LIVESET 画面が表示されます。



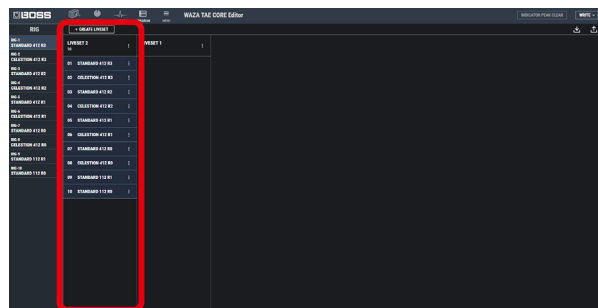
4. ライブセット名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

インポートが開始されます。途中で中止する場合は、[CANCEL] ボタンをクリックします。

WAZA Tube Amp Expander Core の全 RIG をインポートするため、しばらく時間がかかります。インポートが完了すると、「Completed!!!」と表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

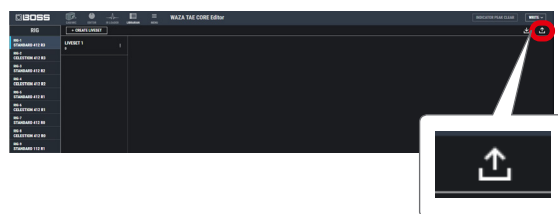
LIBRARIAN に RIG がライブセット形式で保存されます。



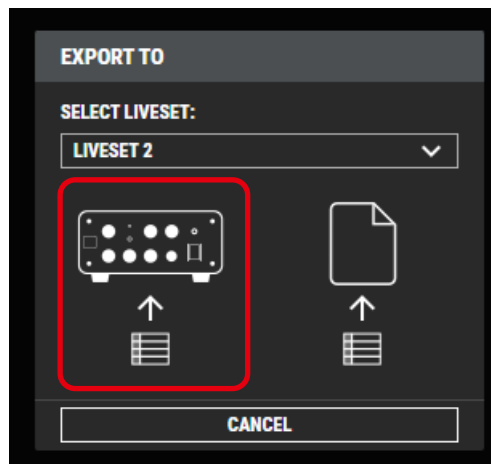
LIBRARIAN のライブセットを書き戻す (EXPORT TO WAZA Tube Amp Expander Core)

保存されているライブセットを WAZA Tube Amp Expander Core に書き戻します。

1. 画面の上部にある [Export] ボタンをクリックします。



2. SELECT LIVESET からエクスポートするライブセットを選びます。



3. [WAZA Tube Amp Expander Core] ボタンをクリックします。

エクスポートが開始されます。途中で中止する場合は、[CANCEL] ボタンをクリックします。

エクスポートが完了すると、「Completed!!!」と表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

選んだライブセットが WAZA Tube Amp Expander Core に書き戻されます。

RIGをWAZA Tube Amp Expander Coreに書き戻す

保存されているライブセットの中から、RIGを選んでWAZA Tube Amp Expander Coreに書き戻します。

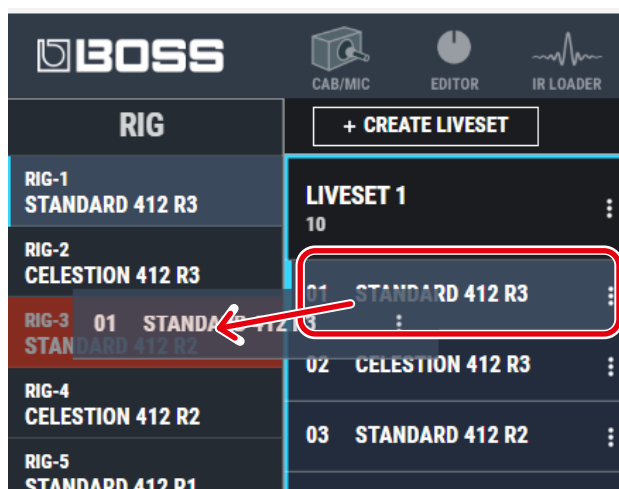
1. 書き出したいRIGを、希望する

WAZA Tube Amp Expander CoreのRIG番号にドラッグ&ドロップします。

注意

RIGをドロップすると、選んだ番号のRIGは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいRIGを選んでください。

ここでは「RIG-1 STANDARD 412 R3」というRIGを「RIG-3 STANDARD 412 R2」にドラッグ&ドロップしています。



WAZA Tube Amp Expander CoreでRIG「RIG-3」を選べば、書き戻したRIGが使えます。

メモ

「複数のRIGを選ぶ」(P.12)に従って、複数のRIGを選ぶこともできます。

ライブセットをパソコンに保存する (EXPORT TO FILE)

バックアップしたライブセットをパソコンに書き出すことができます。

1. 画面の上部にある [Export] ボタンをクリックします。
2. SELECT LIVASET からエクスポートするライブセットを選びます。
3. [FILE] ボタンをクリックします。
「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
4. 名前と保存先を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
保存先にライブセット・ファイル (.tsl ファイル) が作成されます。

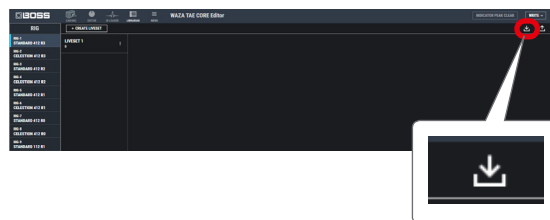
エクスポートしたライブセットの使用例

- USB メモリーなどを使って、別のパソコンにライブセットをコピーする
- メールなどを使って、他のWAZA Tube Amp Expander Coreユーザーにライブセットを送る

パソコンに保存したライブセットを LIBRARIAN に取り込む (IMPORT FROM FILE)

パソコンに書き出したライブセットをエディターの LIBRARIAN に取り込むことができます。

1. 画面の上部にある [Import] ボタンをクリックします。

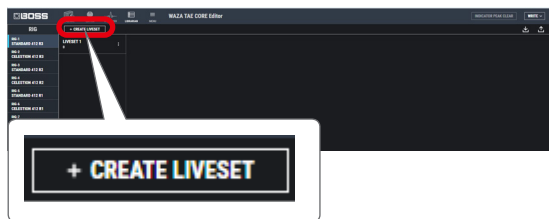


2. [FILE] ボタンをクリックします。
「開く」ダイアログが表示されます。
3. LIBRARIAN に取り込みたいライブセット・ファイル (拡張子: .tsl) を選び、[開く] ボタンをクリックします。
LIBRARIAN に、ライブセットが取り込まれます。

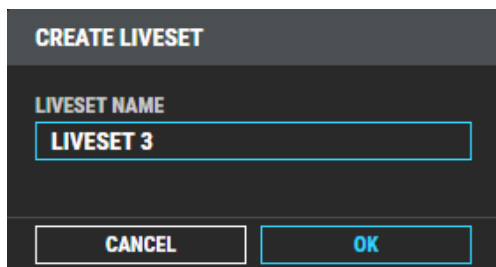
オリジナルのライブセットを作る

好みの RIG だけを集めた、オリジナル・ライブセットを作ることができます。

1. 機能選択エリアの [LIBRARIAN] ボタンをクリックします。

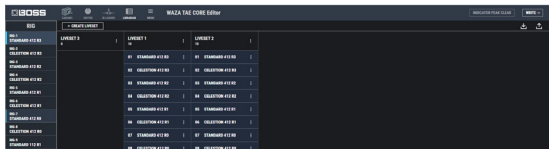


2. ライブセット名を入力します。

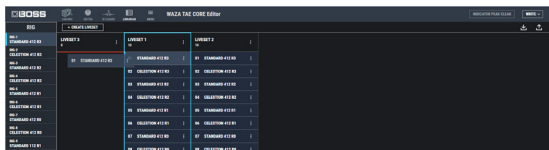


3. [OK] ボタンをクリックします。

RIG が登録されていない空のライブセットが作られます。



4. エディター画面の左の RIG リストの中から、好みの RIG を新しいライブセットにドラッグ&ドロップします。



選んだ RIG が、新しいライブセットに登録されます。

メモ

- ひとつのライブセットに登録できる RIG 数の上限は 15 です。RIG を挿入することで 15RIG を超えた場合、RIG を超えた分の RIG は挿入されません (メッセージが表示されます)。
- 別のライブセット内に登録されている RIG を、新しいライブセットへドラッグ&ドロップすることもできます。
- ライブセット内の RIG は、ドラッグ&ドロップで並び替えをすることができます。
- エディターでは、最大 50 のライブセットを作成することができます。50 を越えて新たにライブセットを作成、保存する場合は、EXPORT TO FILE 機能を使って、既存のライブセットをパソコンに保存してください。

RIG をコピーする

RIG を別のライブセットや WAZA Tube Amp Expander Core の RIG にコピーすることができます。

1. コピーしたい RIG を選びます。

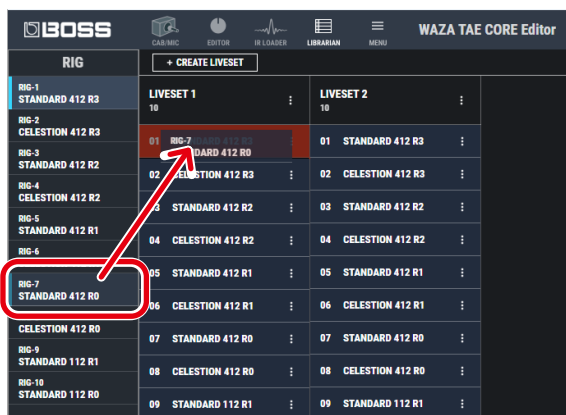
メモ

「複数の RIG を選ぶ」(P.12) に従って、複数の RIG を選んでコピーすることもできます。

2. 選んだ RIG を、希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。

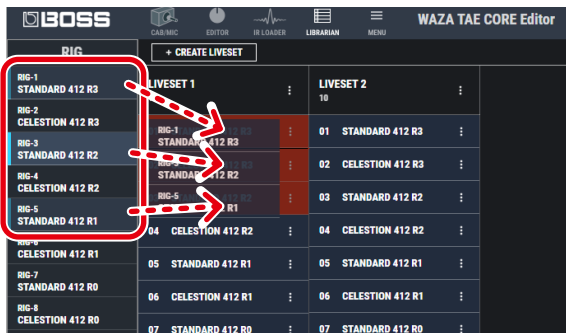
注意

RIG をドロップすると、赤色で選んだエリアの RIG は上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよい RIG を選んでください。



メモ

- 連続していない RIG を選んでコピーした場合は、連続した RIG としてコピーされます。



- ひとつのライブセットに登録できる RIG の数の上限は 15 です。RIG を挿入することで 15RIG を超えた場合、15 を超えた分の RIG は挿入されません (メッセージが表示されます)。
- ライブセット内に登録されている RIG を、自身のライブセットや新しいライブセットへコピーすることもできます。

複数の RIG を選ぶ

パソコンのマウスとキーボードを組み合わせて使うと、RIG をまとめて選ぶことができます。

RIG を範囲で選ぶ

連続した範囲で RIG を選ぶことができます。

1. 選みたい RIG の先頭をクリックします。
2. パソコンのキーボードの [Shift] キーを押しながら、選みたい RIG の末端をクリックします。
クリックした RIG の先頭から末端までが選ばれます。

RIG を個別に選ぶ

クリックした RIG だけを個別に選ぶことができます。

1. パソコンのキーボードの [Ctrl] キーを押しながら、選みたい RIG をクリックします。
クリックした RIG が選ばれます。選ばれた RIG は、ハイライトで表示されます。

Mac OS をお使いの場合

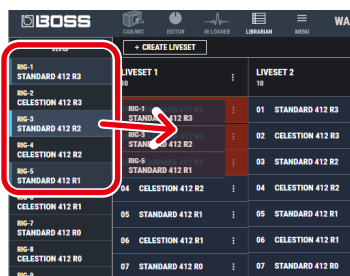
パソコンのキーボードの [command] キーを押しながら、選みたい RIG をクリックします。

2. さらに選みたい RIG がある場合は、手順 1 を繰り返します。
[Ctrl] キーを押しながら、選ばれた RIG (ハイライト表示) を再度クリックすると、解除されます (ハイライトが消えます)。

複数の RIG を選んでコピーするときの操作の違いについて

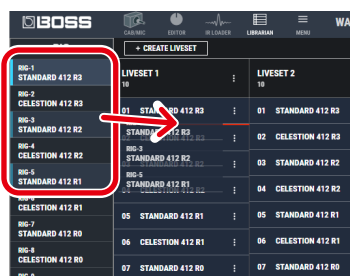
選んだ RIG をドラッグ & ドロップするとき、マウスの操作によってコピーの結果に違いがあります。

コピー先に赤色のエリアを表示させてドラッグ & ドロップする (上書きコピー)



赤色で表示されたエリアに RIG がコピーされます。

コピー先の RIG と RIG の間にドラッグ & ドロップする (挿入)



赤線の位置に RIG が挿入されます。以降の RIG は後ろにずれます。

RIG を移動する

RIG を別のライブセットや WAZA Tube Amp Expander Core の RIG に移動することができます。RIG を移動すると元の場所からはなくなります。

1. 移動したい RIG を選びます。

メモ

「複数の RIG を選ぶ」(P.12) に従って、複数の RIG を選んで移動することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Alt] キーを押しながら、選んだ RIG を希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。

Mac OS をお使いの場合

パソコンのキーボードの [option] キーを押しながら、ドラッグ & ドロップします。

RIG を削除する

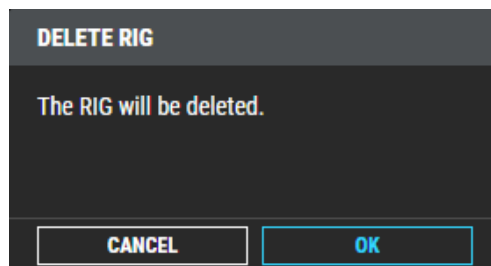
不要な RIG を削除します。

1. 削除したい RIG を選びます。

メモ

「複数の RIG を選ぶ」(P.12) に従って、複数の RIG を選んで削除することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Delete] キーを押します。
[DELETE PATCH] メッセージが表示されます。



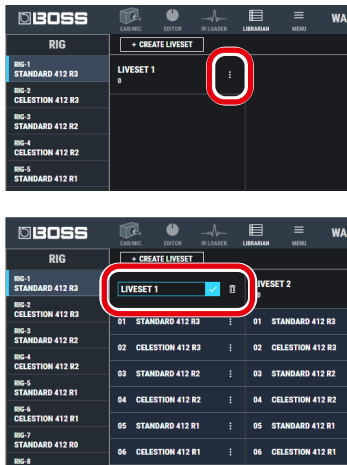
注意

削除した RIG は、元に戻すことはできません。削除を中止するには [CANCEL] ボタンをクリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。
選んだ RIG が削除されます。

ライブセットの名前を変更する

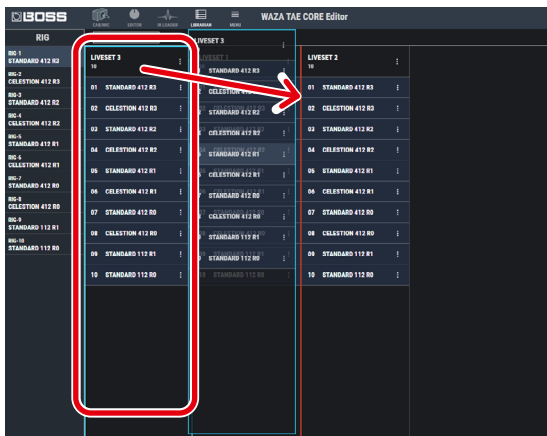
1. エディットしたいライブセット名の右の **[!]** ボタンをクリックします。



ライブセットを並び替える

表示するライブセットを並び替えることができます。

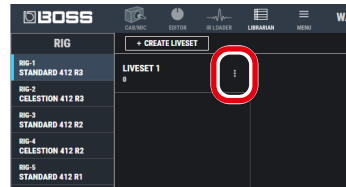
1. 並び替えたいライブセットをクリックします。
2. ライブセット名をドラッグ & ドロップします。
赤線の位置にライブセットが移動します。



ライブセットを削除する

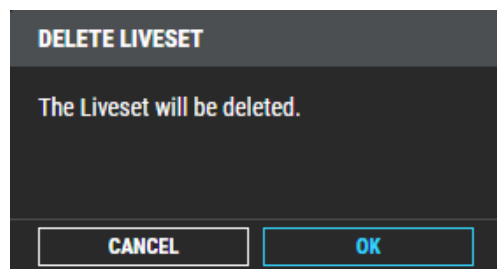
不要になったライブセットを削除することができます。

1. 削除したいライブセット名の右の **[!]** ボタンをクリックします。



2. **[!]** ボタンをクリックします。

「ライブセットの削除」ダイアログが表示されます。



注意

削除したライブセットは、元に戻すことはできません。削除を中止するには [CANCEL] ボタンをクリックします。

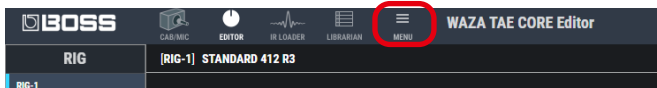
3. **[OK]** ボタンをクリックします。

選んだライブセットが、削除されます。

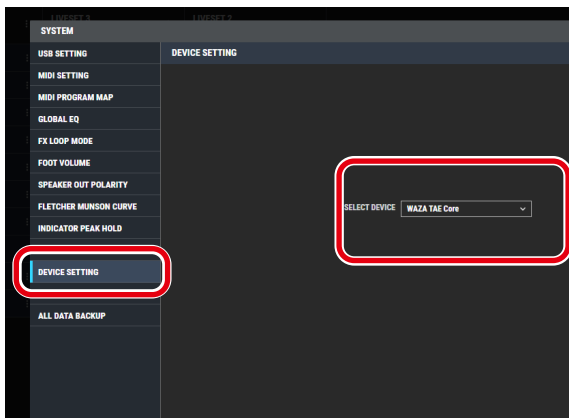
エディターでコントロールするデバイスを選ぶ

エディターでコントロールするデバイスを選びます。

1. 機能選択エリアの [MENU] ボタンをクリックします。
MENU 画面が表示されます。



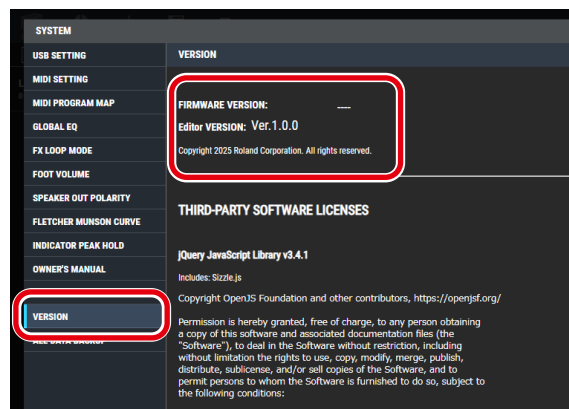
2. [DEVICE SETTING] をクリックします。
デバイス設定画面が表示されます。
3. SELECT DEVICE をクリックし、リストの中から [WAZA TAE Core] を選びます。



バージョンを確認する

WAZA Tube Amp Expander Core 本体とエディターのバージョンを確認することができます。

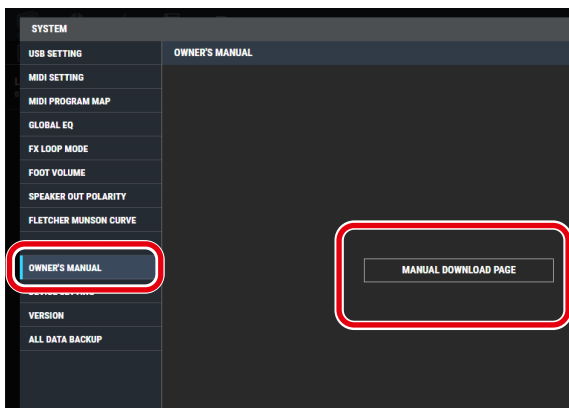
1. 機能選択エリアの [MENU] ボタンをクリックします。
MENU 画面が表示されます。
2. [VERSION] をクリックします。
バージョン情報が表示されます。



取扱説明書をダウンロードする

BOSS のホーム・ページへアクセスすることができます。

1. 機能選択エリアの [MENU] ボタンをクリックします。
MENU 画面が表示されます。
2. [OWNER'S MANUAL] をクリックします。

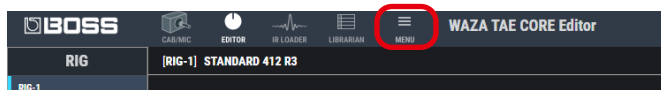


3. [MANUAL DOWNLOAD PAGE] をクリックします。
Web ブラウザーが起動し、ボスのホーム・ページが表示されます。

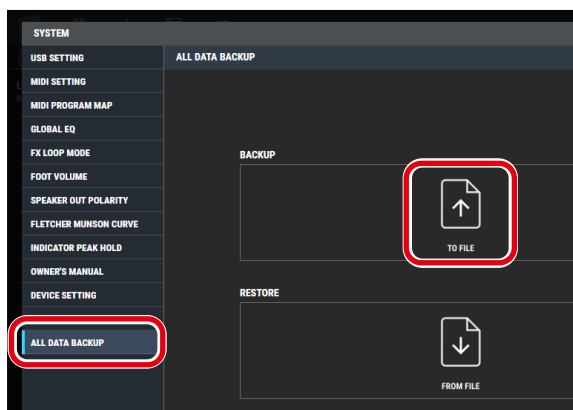
すべての設定をパソコンに保存する (ALL DATA BACKUP)

WAZA Tube Amp Expander Core に保存されているすべてのデータをパソコンに書き出すことができます。

1. 機能選択エリアの [MENU] ボタンをクリックします。
MENU 画面が表示されます。



2. [ALL DATA BACKUP] をクリックします。
ALL DATA BACKUP 画面が表示されます。
3. [TO FILE] ボタンをクリックします。



「名前を付けて保存」のダイアログが表示されます。

4. 名前と保存先を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
バックアップが開始されます。
すべてのデータをバックアップするため、しばらく時間がかかります。
完了すると、「Completed!!!」と表示されます。
5. [OK] ボタンをクリックします。
保存先にオールデータ・ファイル (.alb ファイル) が作成されます。
※ ライブセットはバックアップされません。ライブセットを他のパソコンで使用したい場合は、「ライブセットをパソコンに保存する (EXPORT TO FILE)」(P.10) を実行してください。

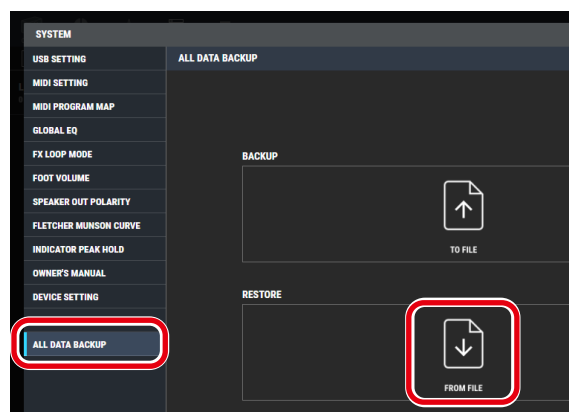
パソコンに保存したオールデータ・ファイルを書き戻す (ALL DATA RESTORE)

パソコンに書き出したオールデータ・ファイルを WAZA Tube Amp Expander Core に書き戻すことができます。

注意

書き戻すとすべてのデータが上書きされ、元の設定に戻すことはできません。

1. 機能選択エリアの [MENU] ボタンをクリックします。
MENU 画面が表示されます。
2. [ALL DATA BACKUP] をクリックします。
ALL DATA BACKUP 画面が表示されます。
3. [FROM FILE] ボタンをクリックします。



「開く」のダイアログが表示されます。

4. 書き戻したいオールデータ・ファイル (拡張子: .alb) を選び、[開く] ボタンをクリックします。
リストアップが開始されます。
すべてのデータをリストアップするため、しばらく時間がかかります。
完了すると、「Completed!!!」と表示されます。
5. [OK] ボタンをクリックします。
WAZA Tube Amp Expander Core にすべてのデータが書き戻されています。

パラメーター一覧

RIG

CAB/MIC SIMULATION

STEREO

スピーカー・キャビネットとマイクを選びます。また、マイクの設定を調節します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF, ON	オン/オフを設定します。
MODE	PRESET	プリセット搭載されている CAB と MIC データを使用します。マイクの位置も設定ができます。
	IR	本機には、CELESTION 社の IR データがプリセットされています。工場出荷時の状態で、すぐに高品質のサウンドで演奏することができます。IR LOADER で取り込んだデータも使用することができます。

MODE=PRESET のときのパラメーター

CAB TYPE	4x12" STANDARD	スタンダードな 12 インチ・スピーカーを 4 個搭載したクローズド・バック・キャビネットのサウンドです。
	4x12" R-FIER	Celestion Vintage 30 (12 インチ) を 4 個搭載した Mesa Boogie Recto キャビネット (クローズド・バック) のサウンドです。
	4x12" BRIT STACK	Celestion G12T-75 スピーカー (12 インチ) を 4 個搭載した Marshall 1960B キャビネット (クローズド・バック) のサウンドです。
	4x12" CLASSIC STACK	Celestion Greenback スピーカー (12 インチ) を 4 個搭載した Marshall 1960B キャビネット (クローズド・バック) のサウンドです。
	4x12" Green/V30	Celestion Greenback (12 インチ) と Celestion Vintage 30 スピーカー (12 インチ) を 2 個ずつ搭載した FRIEDMAN 412 キャビネット (クローズド・バック) のサウンドです。
	4x12" for FOH	スタンダードな 12 インチ・スピーカーを 4 個搭載したクローズド・バック・キャビネットです。FOH へ使うミックスに適した抜けのよいサウンドです。
	4x10" STANDARD	スタンダードな 10 インチ・スピーカーを 4 個搭載したオープン・バック・キャビネットのサウンドです。
	4x10" SUPER COMBO	Fender Super Reverb のキャビネット・サウンドです。CTS アルニコ・スピーカー (10 インチ) を 4 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。
	4x10" TWEED COMBO	Fender Bassman のキャビネット・サウンドです。Jensen P10R (10 インチ) スピーカーを 4 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。
	4x10" for FOH	スタンダードな 10 インチ・スピーカーを 4 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。FOH へ使うミックスに適した抜けのよいサウンドです。
	2x12" STANDARD	スタンダードな 12 インチ・スピーカーを 2 個搭載したオープン・バック・キャビネットのサウンドです。
	2x12" DIAMOND AMP	VOX AC30 のキャビネット・サウンドです。Celestion Greenback スピーカー (12 インチ) を 2 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。
	2x12" for FOH	スタンダードな 12 インチ・スピーカーを 2 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。FOH へ使うミックスに適した抜けのよいサウンドです。
	1x12" STANDARD	スタンダードな 12 インチ・スピーカーを 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットのサウンドです。

1x12" TWEED DELUXE	Fender Tweed Deluxe のキャビネット・サウンドです。Jensen P12Q スピーカー (12 インチ) を 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。
--------------------	---

1x12" DELUXE COMBO	Fender Deluxe Reverb のキャビネット・サウンドです。Jensen C12K スピーカー (12 インチ) を 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。
--------------------	--

パラメーター	設定値	説明
CAB TYPE	1x12" for FOH	スタンダードな 12 インチ・スピーカーを 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。FOH へ使うミックスに適した抜けのよいサウンドです。
	1x10" STANDARD	スタンダードな 10 インチ・スピーカーを 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットのサウンドです。
	1x10" for FOH	スタンダードな 10 インチ・スピーカーを 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。FOH へ使うミックスに適した抜けのよいサウンドです。
	1x8" STANDARD	スタンダードな 8 インチ・スピーカーを 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットのサウンドです。
	1x8" MINI COMBO	Fender Champ のキャビネット・サウンドです。
MIC A TYPE MIC B TYPE	1x8" for FOH	スタンダードな 8 インチ・スピーカーを 1 個搭載したオープン・バック・キャビネットです。FOH へ使うミックスに適した抜けのよいサウンドです。
	DYN57	SHURE の SM57 をモデリングしています。一般的な楽器用ダイナミック・マイクです。ギター・アンプに最適です。
	DYN421	SENNHEISER の MD 421 をモデリングしています。低域の伸びたダイナミック・マイクです。
	CND451	AKG の C451B をモデリングしています。楽器用スモール・コンデンサー・マイクです。
	CND87	NEUMANN の U 87 をモデリングしています。フラットな特性のコンデンサー・マイクです。
MIC A DISTANCE MIC B DISTANCE	RBN121	ROYER の R-121 をモデリングしています。暖かでナチュラルな音のリボン・マイクです。
	0cm ~ 20cm, MEDIUM, LONG	マイクによる録音のしかたをシミュレーションします。 0cm<20cm<MEDIUM<LONG の順にスピーカーからの距離が離れます。
	マイクの位置をシミュレーションします。	
MIC A POSITION MIC B POSITION	CENTER	スピーカー・コーンの中央にマイクをセッティングした状態をシミュレーションします。
	1cm ~ 10cm	スピーカー・コーンの中央から設定した距離だけマイクを移動した状態をシミュレーションします。
MIC A LEVEL MIC B LEVEL	0 ~ 120	マイクの音量を調節します。
MIC A MUTE MIC B MUTE	OFF, ON	オンにするとマイクの音をミュートします。
MODE=IR のときのパラメーター		
CAB A TYPE CAB B TYPE	Celestion IR *1	CELESTION 社の IR データを使用します。
	User IR 1 ~ 64	IR データ (Impulse Response) を IR LOADER で本体にロードすることにより、オリジナルの CAB TYPE を作成することができます。
MIC A LEVEL MIC B LEVEL	0~120	マイクの音量を調節します
TIME ALIGNMENT	50:0~0:50	A と B の遅延時間を 1 サンプル単位で設定します。2 つの信号の位相差が変わること、音の混ざりのよいポイントに調節することができます。 0:0 で A と B の遅延が無しくなります。 50:0 で A の信号が 50 サンプルの遅延、B の遅延が無しくなります。
MIC A MUTE MIC B MUTE	OFF, ON	オンにするとマイクの音をミュートします。
MIC A PHASE MIC B PHASE	OFF, ON	位相を設定します。オンで位相を反転します。
MONO MIX	OFF, ON	CAB/MIC SIMULATION の出力方式を設定します。オンにすると、A と B の信号をミックスしてモノラル信号として出力します。L と R チャンネルに同じ信号が出力されます。オフにすると、A を L チャンネル、B を R チャンネルに出力します。

*1 CELESTION 社の IR データ



キャビネット名	スピーカー	キャビネット・タイプ	マイク
Celestion G12M 4x12" Close DYN57	4x12" Celestion G12M Greenback	CLOSED	SHURE SM57 一般的な楽器用ダイナミック・マイクです。
Celestion G12M 4x12" Close RBN121	4x12" Celestion G12M Greenback	CLOSED	ROYER R-121 暖かでナチュラルな音のリボン・マイクです。
Celestion G12M 4x12" Close DYN421	4x12" Celestion G12M Greenback	CLOSED	SENNHEISER MD-421 低域の伸びたダイナミック・マイクです。
Celestion V30 4x12" Close DYN57	4x12" Celestion Vintage 30	CLOSED	SHURE SM57 一般的な楽器用ダイナミック・マイクです。
Celestion V30 4x12" Close RBN121	4x12" Celestion Vintage 30	CLOSED	ROYER R-121 暖かでナチュラルな音のリボン・マイクです。
Celestion G12M 1x12" Open DYN57	1x12" Celestion G12M Greenback	OPEN	SHURE SM57 一般的な楽器用ダイナミック・マイクです。
Celestion G12M 1x12" Open RBN121	1x12" Celestion G12M Greenback	OPEN	ROYER R-121 暖かでナチュラルな音のリボン・マイクです。
Celestion G12M 1x12" Open DYN421	1x12" Celestion G12M Greenback	OPEN	SENNHEISER MD-421 低域の伸びたダイナミック・マイクです。
Celestion V30 1x12" Open DYN57	1x12" Celestion Vintage 30	OPEN	SHURE SM57 一般的な楽器用ダイナミック・マイクです。
Celestion V30 1x12" Open RBN121	1x12" Celestion Vintage 30	OPEN	ROYER R-121 暖かでナチュラルな音のリボン・マイクです。

MIX ASSIST

他の楽器と干渉する帯域を抑えたり、ギターにとって重要な周波数帯を強調したりすることで、最終的なミックスの質を高めることができる機能です。目的のミックスや、演奏スタイルに合わせてTYPEを選びます。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF、ON	オン/オフを設定します。オフにしたときは加工のないリアルなマイキング音色を出します。
TYPE	1	ハイハットと重なる高域、キックやベースとのすみ分けが難しい低域を抑えることで、よりミックスになじみやすいサウンドが得られるタイプです。
	2	TYPE 1 よりもわずかに帯域を狭めた上で、ギターにとっておいしい帯域を強調します。ミックスへのなじみやすさはそのままに、よりギターに存在感を与えることができるタイプです。
	3	ギターの輪郭を前面に出したサウンドです。ソロ・パートなど、ギターが主体となるミックスに最適なタイプです。
TRANSIENT	-100～+100	一側にすることで、ギターの音の立ち上がりで起きる不要な高レベルスパイクを低減して、より滑らかなギター信号を提供します。+側に調節することで音の立ち上がりを強調することもできます。

AIR FEEL

目の前でリアルにアンプ・キャビネットが鳴っているような自然な立体感が得られます。出力環境と音量に合わせて TYPE と LEVEL を調節します。

パラメーター	設定値	説明
TYPE	STUDIO1	絨毯などで反射音を抑えたスタジオでアンプを弾いている音像が得られます。STUDIO2 よりも明瞭度が高くクリアな音像が得られます。
	STUDIO2	スタジオでアンプを弾いている音像が得られます。
LEVEL	0 ～ 100	AIR FEEL の音量を調節します。本体パネルの [AIR FEEL LEVEL] つまみの操作と連動します。

FX LOOP

外部エフェクトの FX LOOP のオン/オフを設定します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF、ON	オン/オフを設定します。

COMPRESSOR

MONO

コンプレッサーは、大入力を圧縮し小入力を増幅することで、音量を均一化して音を歪ませずにサステイン効果 (音を延ばす効果) を得るエフェクトです。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF、ON	オン/オフを設定します。
TYPE	RACK 160D	dbx 160X をモデリングしています。
	VTG RACK U	UREI 1178 をモデリングしています。
THRESHOLD	0 ～ 100	ギターの入力信号に合わせて調節します。設定したレベル以上の信号が入力されると、信号が抑えられます。
RATIO	1:1 ～ INF:1	スレッシュホールド・レベルを超えたときの圧縮比を選びます。
LEVEL	0 ～ 100	音量を調節します。
ATTACK	0 ～ 100	ピッキング時のアタックの強さを調節します。値を大きくするほど音の立ち上がりが鋭くなり、歯切れのよいサウンドになります。
RELEASE	0 ～ 100	リリース・タイムを調節します。

DELAY

MONO STEREO MONO STEREO

最大ディレイ・タイム 2,000ms のディレイです。シンプルな効果から Roland SDE-3000 の音まで、さまざまなディレイ・サウンドが得られます。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF、ON	オン／オフを設定します。
TYPE	SINGLE	モノのシンプルなディレイです。
	PAN	ステレオ出力時専用のディレイです。ディレイ・タイム（音を遅らせる時間）を L/R チャンネルに振り分けたタップ・ディレイ効果が得られます。
	STEREO	L チャンネルからダイレクト音、R チャンネルからディレイ音出力されます。
	ANALOG	アナログ・ディレイのマイルドなサウンドが得られます。ディレイ・タイムの範囲は 12ms ～ 1,200ms です。
	SDE-3000	Roland SDE-3000 のサウンドをモデリングしています。
TIME	1ms ～ 2000ms、 (TYPE が ANALOG の場合、12ms ～ 1,200ms)	ディレイ・タイム（音を遅らせる時間）を調節します。
FEEDBACK	0 ～ 100	ディレイ音を入力に戻す量を調節します。値を大きくするほどディレイの繰り返し回数が多くなります。
HIGH CUT *1	630Hz ～ 12.5kHz FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルターは働きません。
MODULATION SW	OFF、ON	モジュレーションのオン／オフを設定します。
MODULATION RATE	0 ～ 100	ディレイ音を揺らす速さを調節します。
MODULATION DEPTH	0 ～ 100	ディレイ音を揺らす深さを調節します。
EFFECT LEVEL	0 ～ 120	ディレイ音の音量を調節します。
DIRECT LEVEL	0 ～ 100	ダイレクト音の音量を調節します。
FILTER *2	OFF、ON	フィルターのオン／オフを設定します。オンにすると、エコーとして使用しているとき、自然な効果が得られます。
RANGE *2	8kHz、17kHz	Roland SDE-3000 のディレイ・レンジによる周波数特性をモデリングしています。
DELAY PHASE *2	NORMAL、INVERSE	ディレイ音の位相を設定します。INVERSE を選ぶと位相が反転します。モジュレーションとの併用で効果を発揮します。
FEEDBACK PHASE *2	NORMAL、INVERSE	ディレイ音のフィードバックの位相を設定します。INVERSE を選ぶと位相が反転します。
PAN TAP TIME *3	0 ～ 100%	R チャンネルのディレイ・タイムを調節します。L チャンネルのディレイ・タイムを 100% と考えて、R チャンネルのディレイ・タイムを調節します。

*1 TYPE が SDE-3000 以外のときに設定可能です。

*2 TYPE が SDE-3000 のときに設定可能です。

*3 TYPE が PAN のときに設定可能です。

REVERB

MONO STEREO

音に残響を加えるエフェクトです。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF、ON	オン／オフを設定します。
TYPE	HALL1	コンサート・ホールでの残響音をシミュレートしたリバーブです。クリアで広がりのある残響音を得られます。
	HALL2	コンサート・ホールでの残響音をシミュレートしたリバーブです。落ち着いたマイルドな残響音を得られます。
	PLATE	プレート・リバーブ(金属板の振動を利用したリバーブ・ユニット)をシミュレートしたリバーブです。高域が伸びた金属的な響きを得られます。
	ROOM1	室内での残響音をシミュレーションしたリバーブです。暖かみのある残響音を得られます。
	ROOM2	ROOM1 よりも大きめの部屋での残響音をシミュレートします。
	SPRING	ギター・アンプ内蔵のスプリング・リバーブをシミュレートしています。
TIME	0.1s ～ 10.0s	リバーブ音の長さ（時間）を調節します。
TOPE	-50 ～ 0 ～ +50	リバーブ音の音質を調節します。
DENSITY	1 ～ 10	リバーブ音の密度を調節します。
PRE-DELAY	0ms ～ 200ms	リバーブ音が出力されるまでの時間を調節します。
SPEAKER OUT SEND	OFF、ON	SPEAKER OUT へのリバーブのオン／オフを設定します。
SPEAKER OUT EFFECT LEVEL	0 ～ 100	SPEAKER OUT へのリバーブ音の音量を調節します。
SPEAKER OUT DIRECT LEVEL	0 ～ 100	SPEAKER OUT へのダイレクト音の音量を調節します。
GLOBAL EFFECT LEVEL	0 ～ 200	SPEAKER OUT と LINE OUT のリバーブ音の音量を調節します。
LOW CUT	FLAT、20.0Hz ～ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルターは働きません。
LOW DAMP	-50 ～ 0 ～ +50	低音域の減衰量を調節します。
HIGH CUT	630Hz ～ 12.5kHz FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルターは働きません。
HIGH DAMP	-50 ～ 0 ～ +50	高音域の減衰量を調節します。
LINE OUT SEND	OFF、ON	LINE OUT へのリバーブのオン／オフを設定します。
LINE OUT EFFECT LEVEL	0 ～ 100	LINE OUT へのリバーブ音の音量を調節します。
LINE OUT DIRECT LEVEL	0 ～ 100	LINE OUT へのダイレクト音の音量を調節します。

SPEAKER OUT SOLO/EQ

MONO

SPEAKER OUT の音質を調節します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF、ON	オン/オフを設定します。
SP/LINE LINK	OFF、ON	オンにすると LINE OUT EQ が SPEAKER OUT EQ にリンクします。
TYPE	PARAMETRIC	4 帯域を調整することができます。
	GRAPHIC	10 帯域を調整することができます。

PARAMETRIC

音質を調節します。4 帯域を調整することができます。

パラメーター	設定値	説明
LOW CUT	FLAT、20.0Hz ~ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルタは働きません。
LOW GAIN	-20 ~ +20dB	低音域の音質を調節します。
LOW-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	LOW-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
LOW-MID Q	0.5 ~ 16	LOW-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
LOW-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中低域の音質を調節します。
HIGH-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	HIGH-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
HIGH-MID Q	0.5 ~ 16	HIGH-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
HIGH-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中高域の音質を調節します。
HIGH CUT	630Hz ~ 16.0kHz FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルタは働きません。
HIGH GAIN	-20 ~ +20dB	高音域の音質を調節します。
LEVEL	-20 ~ +20dB	イコライザー全体の音量を調節します。ソロとして使う場合はこのレベルを調整します。

GRAPHIC

音質を調節します。10 帯域を調整することができます。

パラメーター	設定値	説明
31.5Hz	-20 ~ +20dB	各帯域の音量を調節します。
63Hz		
125Hz		
250Hz		
500Hz		
1kHz		
2kHz		
4kHz		
8kHz	-20 ~ +20dB	イコライザー全体の音量を調節します。ソロとして使う場合はこのレベルを調整します。
16kHz		

LINE OUT SOLO/EQ

STEREO

LINE OUT の音質を調節します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF、ON	オン/オフを設定します。
SP/LINE LINK	OFF、ON	オンにすると SPEAKER OUT EQ が LINE OUT EQ にリンクします。
TYPE	PARAMETRIC	4 帯域を調整することができます。
	GRAPHIC	10 帯域を調整することができます。

PARAMETRIC

音質を調節します。4 帯域を調整することができます。

パラメーター	設定値	説明
LOW CUT	FLAT、20.0Hz ~ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルタは働きません。
LOW GAIN	-20 ~ +20dB	低音域の音質を調節します。
LOW-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	LOW-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
LOW-MID Q	0.5 ~ 16	LOW-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
LOW-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中低域の音質を調節します。
HIGH-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	HIGH-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
HIGH-MID Q	0.5 ~ 16	HIGH-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
HIGH-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中高域の音質を調節します。
HIGH CUT	630Hz ~ 16.0kHz FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルタは働きません。
HIGH GAIN	-20 ~ +20dB	高音域の音質を調節します。
LEVEL	-20 ~ +20dB	イコライザー全体の音量を調節します。ソロとして使う場合はこのレベルを調整します。

GRAPHIC

音質を調節します。10 帯域を調整することができます。

パラメーター	設定値	説明
31.5Hz	-20 ~ +20dB	各帯域の音量を調節します。
63Hz		
125Hz		
250Hz		
500Hz		
1kHz		
2kHz		
4kHz		
8kHz	-20 ~ +20dB	イコライザー全体の音量を調節します。ソロとして使う場合はこのレベルを調整します。
16kHz		

SPEAKER OUT LEVEL

SPEAKER OUT の音量を調節します。

パラメーター	設定値	説明
SP / LINE LINK	OFF、ON	オンにすると LINE OUT LEVEL が SPEAKER OUT LEVEL にリンクします。
LEVEL	0 ~ 120	音量を調節します。

LINE OUT LEVEL

LINE OUT の音量を調節します。

パラメーター	設定値	説明
SP / LINE LINK	OFF、ON	オンにすると SPEAKER OUT LEVEL が LINE OUT LEVEL にリンクします。
LEVEL	0 ~ 120	音量を調節します。

MENU

USB SETTING

本機をパソコンに USB 接続したときの USB オーディオに関する設定をします。

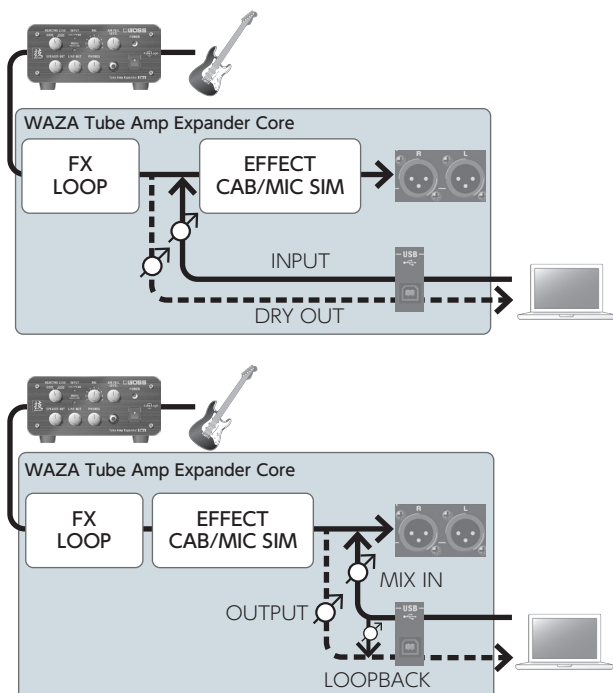
パラメーター	設定値	説明
DRY OUT LEVEL	0 ~ 200%	外部 FX LOOP のあと、本機のエフェクトや CAB/MIC シミュレーションを通る前の音のレベルを調節します。
INPUT LEVEL	0 ~ 200%	パソコンからの音を内部のエフェクトの手前に入力します。このとき、パソコンからの音は、ギター・アンプからの音とミックスされます。
OUTPUT LEVEL	0 ~ 200%	本機のエフェクトや CAB/MIC シミュレーションを通して LINE OUT の最終段からパソコンへ出力される音のレベルを調節します。
MIX IN LEVEL	0 ~ 200%	パソコンからの音を内部の LINE OUT の最終段に入力します。このとき、パソコンからの音は、LINE OUT の音とミックスされます。
LOOPBACK SW	OFF, ON	オンにすると、パソコンからの入力音をそのままパソコンに返します (ループバック)。
LOOPBACK LEVEL	0 ~ 200%	ループバックでパソコンに返す音のレベルを調節します。

USB オーディオの流れ

WAZA Tube Amp Expander Core は、「MIX IN/OUTPUT」と「INPUT/DRY OUT」の 2 系統の USB オーディオ入出力を持っています。(Mac OS の場合は、MIX IN/OUTPUT は「1, 2/1-2」、INPUT/DRY OUT は「3, 4 / 3-4」と表示されます。)

OUTPUT は LINE OUT からエフェクト音を出し、MIX IN は LINE OUT の最終段でチューブ・アンプからの (ギターの演奏) 音にミックスされます。MIX IN の音を OUTPUT ヘルプバックすることもできます。DRY OUT は WAZA Tube Amp Expander Core の内蔵エフェクトの前段にある外部 FX LOOP の直後の音を出し、INPUT は WAZA Tube Amp Expander Core の内蔵エフェクトの前にミックスされます。

WAZA Tube Amp Expander Core は OUTPUT / DRY OUT いずれからもパソコンに対して出力しているため、チューブ・アンプ用 (ギター用) に 2トラック用意しておけば、内蔵エフェクト前の音、LINE OUT からエフェクト音を同時に録音することができます。LINE OUT からエフェクト音が気に入らなければ、同時に録音した DRY OUT から音を再生、WAZA Tube Amp Expander Core のエフェクトに通して音を作り上げることが可能です。



MIDI SETTING

本機を外部 MIDI 機器と接続して使用するための設定をします。

パラメーター	設定値	説明
RX CHANNEL	MIDI 情報を受信するための MIDI チャンネルを設定します。 OFF, Ch. 1 ~ Ch. 16	受信チャンネルを設定します。
OMNI MODE	MIDI 情報のチャンネルについての設定をします。 OFF ON	RX CHANNEL の設定に従って情報を受信します。 MIDI チャンネルの設定に関係なく、すべての MIDI チャンネルの情報を受信します。
FX LOOP RX CC#	FX LOOP をオン/オフします。 OFF CC#1 ~ CC#31, CC#64 ~ CC#95	コントロール・チェンジ情報を受信しません。 外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントローラー・ナンバーを設定します。 コントロール・バリューが 0 ~ 63 のときはオフにします。 コントロール・バリューが 64 ~ 127 のときはオンにします。
COMP RX CC#	COMPRESSOR をオン/オフします。 OFF CC#1 ~ CC#31, CC#64 ~ CC#95	コントロール・チェンジ情報を受信しません。 外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントローラー・ナンバーを設定します。 コントロール・バリューが 0 ~ 63 のときはオフにします。 コントロール・バリューが 64 ~ 127 のときはオンにします。
DELAY RX CC#	DELAY をオン/オフします。 OFF CC#1 ~ CC#31, CC#64 ~ CC#95	コントロール・チェンジ情報を受信しません。 外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントローラー・ナンバーを設定します。 コントロール・バリューが 0 ~ 63 のときはオフにします。 コントロール・バリューが 64 ~ 127 のときはオンにします。
REVERB RX CC#	REVERB をオン/オフします。 OFF CC#1 ~ CC#31, CC#64 ~ CC#95	コントロール・チェンジ情報を受信しません。 外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントローラー・ナンバーを設定します。 コントロール・バリューが 0 ~ 63 のときはオフにします。 コントロール・バリューが 64 ~ 127 のときはオンにします。
SPEAKER OUT EQ RX CC#	SPEAKER OUT EQ をオン/オフします。 OFF CC#1 ~ CC#31, CC#64 ~ CC#95	コントロール・チェンジ情報を受信しません。 外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントローラー・ナンバーを設定します。 コントロール・バリューが 0 ~ 63 のときはオフにします。 コントロール・バリューが 64 ~ 127 のときはオンにします。
LINE OUT EQ RX CC#	LINE OUT EQ をオン/オフします。 OFF CC#1 ~ CC#31, CC#64 ~ CC#95	コントロール・チェンジ情報を受信しません。 外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントローラー・ナンバーを設定します。 コントロール・バリューが 0 ~ 63 のときはオフにします。 コントロール・バリューが 64 ~ 127 のときはオンにします。

パラメーター	設定値	説明
FOOT VOL PRE EFFECT RX CC#	内蔵エフェクト前段にある PRE EFFECT のフット・ボリュームを操作します。	
	OFF	コントロール・チェンジ情報を受信しません。
	CC#1 ~ CC#31、 CC#64 ~ CC#95	外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントローラー・ナンバーを設定します。コントロール・バリューは 0 ~ 127 で操作します。
FOOT VOL MAIN RX CC#	内蔵エフェクト後段にある MAIN のフット・ボリュームを操作します。	
	OFF	コントロール・チェンジ情報を受信しません。
	CC#1 ~ CC#31、 CC#64 ~ CC#95	外部 MIDI 機器の送信メッセージに合わせて、コントロール・ナンバーを設定します。コントロール・バリューは 0 ~ 127 で操作します。

MIDI PROGRAM MAP

外部 MIDI 機器から送信されるプログラム・チェンジ情報で RIG を切り替えるときに、本機が受信したプログラム・チェンジ情報と切り替わる RIG の対応を設定します。

パラメーター	設定値	説明
PC#1 ~ PC#128	NONE	プログラム・チェンジ情報を受信しません。
	RIG1 ~ RIG10	プログラム・ナンバーに対応する RIG 番号 (RIG1 ~ RIG10) を設定します。

GLOBAL EQ

SPEAKER OUT

SPEAKER OUT の GLOBAL EQ を設定します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF, ON	オン/オフを設定します。
SP/LINE LINK	OFF, ON	オンにすると LINE OUT の GLOBAL EQ が SPEAKER OUT の GLOBAL EQ にリンクします。
LOW CUT	FLAT、 20.0Hz ~ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルターは働きません。
LOW GAIN	-20 ~ +20dB	低音域の音質を調節します。
LOW-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	LOW-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
LOW-MID Q	0.5 ~ 16	LOW-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
LOW-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中低域の音質を調節します。
HIGH-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	HIGH-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
HIGH-MID Q	0.5 ~ 16	HIGH-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
HIGH-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中高域の音質を調節します。
HIGH CUT	630Hz ~ 16.0kHz FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルターは働きません。
HIGH GAIN	-20 ~ +20dB	高音域の音質を調節します。
LEVEL	-20 ~ +20dB	イコライザー全体の音量を調節します。ソロとして使う場合はこのレベルを調整します。

LINE OUT

LINE OUT の GLOBAL EQ を設定します。

パラメーター	設定値	説明
ON/OFF	OFF, ON	オン/オフを設定します。
LOW CUT	FLAT、 20.0Hz ~ 800Hz	設定された周波数より低い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ロー・カット・フィルターは働きません。
LOW GAIN	-20 ~ +20dB	低音域の音質を調節します。
LOW-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	LOW-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
LOW-MID Q	0.5 ~ 16	LOW-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
LOW-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中低域の音質を調節します。
HIGH-MID FREQ	20.0Hz ~ 16.0kHz	HIGH-MID GAIN で調節される中心周波数を設定します。
HIGH-MID Q	0.5 ~ 16	HIGH-MID FREQ で設定された周波数を中心に EQ のかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。
HIGH-MID GAIN	-20 ~ +20dB	中高域の音質を調節します。
HIGH CUT	630Hz ~ 16.0kHz FLAT	設定された周波数より高い周波数成分をカットします。FLAT にすると、ハイ・カット・フィルターは働きません。
HIGH GAIN	-20 ~ +20dB	高音域の音質を調節します。
LEVEL	-20 ~ +20dB	イコライザー全体の音量を調節します。ソロとして使う場合はこのレベルを調整します。

FX LOOP MODE

FX LOOP のモードを設定できます。

パラメーター	設定値	説明
FX LOOP MODE	PARALLEL	外部エフェクト音とダイレクト音がミックスされます。
	SERIES	外部エフェクト音のみになります。 ※「SERIES」に設定しているとき、外部エフェクターの音量が絞られていたり電源が入っていなかったりすると、音が出ません。

FOOT VOLUME

MIDI で接続したエクスプレッション・ペダルのレベルやボリューム・カーブの設定をします。PRE EFFECT と MAIN それぞれで設定できます。

パラメーター	設定値	説明
VOLUME MIN	0~100	ペダルのかかと側を踏んだときの音量を設定します。
VOLUME MAX	0~100	ペダルのつま先側を踏んだときの音量を設定します。
VOLUME CURVE	SLOW1、SLOW2、NORMAL、FAST	ペダルを踏み込む量に対して、実際の音量がどのように変化するかを選びます。 音量 ペダルを戻したとき ペダルを踏み込んだとき

電源立ち上げ時は VOLUME MAX の設定値で信号が出力されます。

SPEAKER OUT POLARITY

SPEAKER OUT の極性を反転することができます。

パラメーター	設定値	説明
SPEAKER OUT POLARITY	NORMAL、INVERSE	INVERSE にすると極性が反転します。

FLETCHER MUNSON CURVE

SPEAKER OUT にフレッチャー・マンソン・カーブ（ラウドネス・カーブ）による周波数特性の補正をかけることができます。[SPEAKER OUT] つまみで音量を下げたときに効果的です。

パラメーター	設定値	説明
FLETCHER MUNSON CURVE	OFF、ON	オン／オフを設定します。

INDICATOR PEAK HOLD

SIG/PEAK インジケーターのピーク表示のしかたを設定します。

パラメーター	設定値	説明
PEAK HOLD	OFF、ON	オン／オフを設定します。
HOLD TIME	1、2、3、4sec、CONTINUE	ホールドする時間を設定します。

工場出荷時の RIG リスト

RIG		PRESET/IR	CAB TYPE	MIC TYPE	MIX ASSIST	AIR FEEL	FX LOOP	COMPRESSOR DELAY REVERB SOLO/EQ
RIG 1	STANDARD 412 R3	PRESET	4x12" STANDARD	A : DYN57 B : RBN121 (MUTE ON)	ON : TYPE 3	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 2	CELESTION 412 R3	IR	A : Celestion G12M 4x12" Close DYN57 B : Celestion G12M 4x12" Close RBN121		ON : TYPE 3	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 3	STANDARD 412 R2	PRESET	4x12" STANDARD	A : DYN57 B : RBN121 (MUTE ON)	ON : TYPE 2	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 4	CELESTION 412 R2	IR	A : Celestion G12M 4x12" Close DYN57 B : Celestion G12M 4x12" Close RBN121		ON : TYPE 2	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 5	STANDARD 412 R1	PRESET	4x12" STANDARD	A : DYN57 B : RBN121 (MUTE ON)	ON : TYPE 1	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 6	CELESTION 412 R1	IR	A : Celestion G12M 4x12" Close DYN57 B : Celestion G12M 4x12" Close RBN121		ON : TYPE 1	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 7	STANDARD 412 R0	PRESET	4x12" STANDARD	A : DYN57 B : RBN121 (MUTE ON)	OFF	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 8	CELESTION 412 R0	IR	A : Celestion G12M 4x12" Close DYN57 B : Celestion G12M 4x12" Close RBN121		OFF	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 9	STANDARD 112 R1	PRESET	1x12" STANDARD	A : DYN57 B : RBN121 (MUTE ON)	ON : TYPE 1	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF
RIG 10	STANDARD 112 R0	PRESET	1x12" STANDARD	A : DYN57 B : RBN121 (MUTE ON)	OFF	STUDIO 2 LEVEL 30	ON	OFF